

教育

で選ばれる まちを目指して

ID 1002453

宇都宮市立の小・中学校の「教育」には、本市ならではの取り組みや特徴などがたくさんあります。宇都宮の教育の「今」を紹介します。

問 教育企画課 ☎ (632) 2704



3つのACTIONで育む教育

Action

(行動)

それぞれの
一歩を踏み出そう

Attraction

(興味)

ワクワクの輪を
広げよう

Interaction

(交流)

たくさんのつながりから
価値観をつくろう



確かな学力の育成



本市では、市立小・中学校が連携し、義務教育9年間を通して、児童生徒一人一人の学習状況や発達
の段階に応じた学習指導（小中一貫教育カリキュラ

ム）を行っています。

さらに、担任を補助する学習支援の先生などを市独自で任用し、きめ細かな指導体制を構築しています。

学力を伸ばす9年間のカリキュラム



その結果 ……

全国学力・学習状況調査で、

おおむね**10年以上、全国平均を上回る学力を**
維持しています

※ 1 「飛鳥人物伝 聖徳太子」ポプラ社 企画・構成・監修＝加来 耕三、原作＝水谷 俊樹、作画＝早川 大介
※ 2 「源平武将伝 平清盛」ポプラ社 企画・構成・監修＝加来 耕三、原作＝水谷 俊樹、作画＝中島 健志。



本市独自の9年間の英語教育

ALT配置人数
中核市 **3位**

国の基準では、小学3年生から英語学習を実施することが定められていますが、本市では、小学1年生から英語の授業時間を確保し、早期から英語に慣れ親しみます。

小・中学校9年間を通じた英語教育で、積極的に英語でコミュニケーションを図る児童生徒の育成を行っています。



英語の基礎をつくる

低学年から英語に触れることで、英語を聞く耳を育てます。



リアルな英語に触れる

ALT(外国語指導助手)との授業は、英語でのコミュニケーションが中心です。給食や昼休みなど、授業以外の時間でもALTと英語で交流します。



自分の英語力を試す

すべて英語での会話を基本とし、ALTと自然の中でのウォークラリーなど、アクティビティに取り組む「イングリッシュキャンプ」を開催しています。



学校生活の楽しみ！ ワクワクする給食

学校栄養士
配置人数
中核市 **1位**

学校生活の中で、子どもたちが毎日楽しみにしているのが給食です。本市では、全国に誇れる栄養バランスのとれた「日本一おいしい給食」を毎日提供しています。

令和7年4月から、市立小・中学校に在籍する児童生徒の保護者が負担する給食費に対し、1人当たり毎月2,000円を上限に、市が独自に支援を行っています。



「学校栄養士」を全校に配置

栄養のプロである「学校栄養士」を全市立小・中学校に配置し、献立作成や食物アレルギーへの対応など、安全・安心な給食を提供しています。

子どもたちの興味を高め、ワクワクさせる「お話し給食」。



▲お話し給食 絵本
「パムとケロのおかいもの」



「自校炊飯・自校調理」による できたての給食

他の多くの自治体では、給食センターなどで調理した給食を各学校へ配送していますが、本市では、自校炊飯・自校調理にこだわり、温かくて、おいしい給食を提供しています(上河内地区は、給食センターで調理)。



「地産地消」の推進

宇都宮市産米100%のご飯、宇都宮市産小麦100%のパンに、新鮮な地場農産物を取り入れたおかず、栃木県産の牛乳などを組み合わせた給食を提供しています。



移住した保護者の声

- ▼ 関西の中学校は弁当持参なので、中学校でも給食が提供されていることに驚いた。大変ありがたい。
- ▼ 市外から転校してきた子の保護者との会話で、宇都宮市の給食が「おいしいんだ」と改めて実感した。

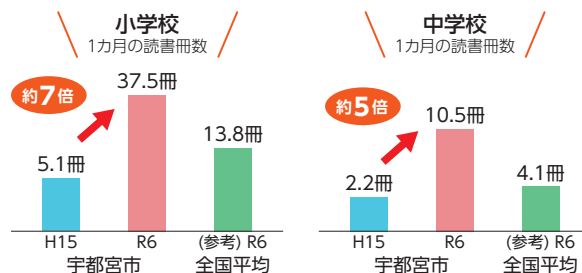
Attraction 2

読書を楽しむ

学校図書館
司書配置人数
中核市 **1位**

読書は、子どもたちの感性を豊かにする大切なものです。

子どもたちの読書活動を支援するため、本市では、平成18年から全市立小・中学校に「学校図書館司書」を配置しています。これにより、学校図書館の環境が充実したことで、児童生徒の読書意欲が向上し、読書量が増加しました。



学校図書館 **司書** にお話を伺いました



本を通じてのコミュニケーションを

司書とは、図書室で生徒が本を選ぶ際のアドバイスや、読書の支援、本の貸し出し・返却手続きなどをする仕事です。本を通じて生徒たちとコミュニケーションを取れたり、本に興味を持ってもらえたりするとやりがいを感じます。

また、手作りポップを使って本を展示し、月ごとにコーナーを変えて本を紹介することで、生徒たちがさまざまな本に触れるきっかけとなるよう工夫しています。図書室が本に出合えるきっかけとなり、誰もが気軽に立ち寄れる場所になればいいなと思っています。

これからも、生徒たちとたくさん交流していく中で、少しでも読書の楽しさなどを味わってもらえるよう、本と生徒をつなぐ役割を果たしたいです。



図書室にいた 生徒の声



図書委員として、司書さんと一緒に本をお薦めする活動をしています。司書さんは、優しく手伝ってくれて、本のことをたくさん教えてくれます。

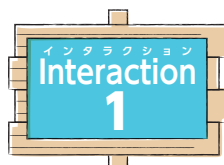


図書室には週に3回くらい通っています。夏は暑いので、図書室は涼しくて読書に集中できます。



友達と一緒に1冊の本を読み、感想を言い合うのが楽しいです。休み時間に図書室で過ごす時間が毎日の楽しみです。





教科書だけでは学べない！「価値観」の芽生え

自然とのつながり

全市立の小・中学校の小学5年生、中学1年生が、市有施設の冒険活動センターで2泊3日の自然体験活動を実施しています。

ロッジやテントでの集団宿泊体験やアクティビティを通して自然を感じ、周囲との関わり方を学び、思いやりの心を育むことができます。



社会とのつながり

働く大人と関わり、将来への視野を広げます。小学1～4年生は、校外学習を通して仕事について知り、小学5年生～中学1年生は、働く人の講話を聞き、職業への理解を深めます。中学2年生では、事業所で5日間の体験活動を実施し、さまざまな職業を知ることができます。



他にもこんな取り組みをしています

快適な
学習環境

＼快適な学習環境を整備／
**全市立小・中学校の体育館、
武道場にエアコンを設置**

本市では、普通教室へのエアコン設置に加え、全市立小・中学校の体育館にもエアコンを設置しました。現在は、中学校武道場へのエアコン設置も進めており、令和8年夏までに全校整備予定です。また、小・中学校の校舎・体育館トイレの洋式化率は、現在、83.5%（令和6年度末時点）で、令和9年度末までに100%整備予定です。

▼普通教室へのエアコン
設置率 100%。

▼体育館へのエアコン設
置率 100%。



放課後の
居場所

＼待機児童ゼロ！／
子どもの家(放課後児童クラブ) ID 1006548

放課後や長期休業期間に児童が過ごす「子どもの家」では、支援員に見守られながら宿題をするなど、充実した時間を過ごしています。令和7年度には、全ての子どもにWi-Fi環境を整備し、一人一台端末を使用して宿題ができるようになりました。



安心でき
る居場所

＼誰一人取り残さない安心できる居場所／
**全市立中学校に校内教育支援
センターを開設** ID 1007638

校内教育支援センターは、学校には行けても、自分のクラスに入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用する校内での安心できる居場所です。専属の支援員が児童生徒のペースに合わせて相談に乗ったり、学習のサポートを行ったりします。

■本市の校内教育支援センターの特徴

▼専属の支援員を1日4時間、週5日配置。

▼同じ支援員が継続して支援に当たること、生徒との信頼関係を築き、校内に安心できる居場所をつくる。

▼学びの機会の保障と将来の社会的自立に向けた支援。

安心でき
る居場所

＼オンラインの居場所／
「U@りんくす」(オンライン) ID 1007638

「U@りんくす」では、不登校の子どもたちの「学びの機会」を保障し、オンラインでの学習支援や相談、体験活動を通して、人とのつながりを実感し、将来の「社会的自立」に向けた力を育んでいます。

